



豊岡市学校施設整備計画

平成 28 年 3 月

豊岡市教育委員会

目 次

1	学校施設整備計画策定の趣旨	・ ・ ・ ・ 1
2	現状と課題	・ ・ ・ ・ 2
	(1) 吊り天井等落下防止対策	
	(2) 経年による学校施設の老朽化	
	(3) 児童生徒数の推移	
3	学校施設整備計画	・ ・ ・ ・ 3
	(1) 計画期間	
	(2) 基本的な整備方針	
	ア 吊り天井等落下防止対策	
	イ 老朽化対策	
	(ア) 老朽化対策の実施時期	・ ・ ・ ・ 4
	(イ) 事業量・事業費の縮減	
	(ウ) 小規模校における下限の目安	・ ・ ・ ・ 5
	(エ) 下限の目安に達した場合の施設整備	・ ・ ・ ・ 6
	(オ) その他	
	(3) 事業別整備計画	
	ア 吊り天井等落下防止対策事業	
	イ 老朽化対策事業	・ ・ ・ ・ 7
4	学校統合等留意事項	・ ・ ・ ・ 10
5	付属資料	・ ・ ・ ・ 11

1 学校施設整備計画策定の趣旨

平成 19 年 3 月に策定された「豊岡市学校施設整備計画」に基づき、小中学校 18 校の耐震補強を中心とする整備を進めてきたが、平成 27 年度で全ての耐震補強工事が完了し耐震化率は 100%となった。

一方、東日本大震災で多くの被害が発生し国から緊急的整備が示された、吊り天井等落下防止対策については、平成 27 年度から 3 年間で屋内運動場等 11 棟について優先的に整備を進めている。

学校施設は、児童生徒が学習・生活の場として、充実した教育活動を送るとともに、豊かな人間性を育む教育環境として重要な意義を持っている。さらに、災害時には地域の応急避難場所としての役割もあるなど、そこに集う人たちの安全と安心を十分に確保したものでなければならぬとされている。

平成 27 年 4 月現在、本市は広範な市域に小学校 29 校と中学校 9 校、計 38 校を有しているが、その中には、建築後 50 年以上を経過した施設が 8 棟あるなど、施設の老朽化対策が喫緊の課題となっている。

従来、国における学校施設整備の考え方は、不具合が生じた後に修繕等を行う「事後保全」や建築後平均 42 年程度での「改築」が中心であったが、近年、国・地方とも厳しい財政状況のもと多くの老朽化施設を抱え、その方針は「長寿命化改修」へ転換しており、予防保全や建替えサイクルの延長による施設整備に重点を移している。

また、児童生徒数についても更に減少すると予測されるなか、学校の小規模化が進むと、クラス替えも困難となり、人間関係や相互の評価等が固定化しやすいなど教育的課題も生じやすいため、学校の適正規模確保の観点から、学校統合についても今まで以上に重要な課題となっている。

以上のことから、学校整備審議会の答申を踏まえ、安全安心な教育環境と教育の質的向上に配慮した整備を前提としながら、市の財政負担や地域特性も考慮した持続可能な学校整備を進めるため、学校施設整備計画を策定する。

なお、幼稚園施設については、施設規模等の特徴が小中学校と異なるため、別途機会の検討に委ねることとする。

また、計画内容は社会情勢など諸般の状況により、見直しや変更を行う場合がある。

2 現状と課題

(1) 吊り天井等落下防止対策

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、構造体のみならず、天井材や照明器具、内・外装材の落下など非構造部材の落下等による被害が多く発生した。これに伴い国から「学校施設における天井等落下防止対策」が新たに示され、本市においても平成 27 年度から屋内運動場等 11 棟について優先的に整備を進めている。

(2) 経年による学校施設の老朽化

教育総務課が管理する学校施設台帳から集約した、全ての小中学校の校舎や屋内運動場など、100 棟（校舎 62 棟、体育館 38 棟）を対象施設とした。平成 27 年 4 月現在、建築後 40 年を経過した施設が 19 棟、さらに、50 年以上経過した施設が 8 棟となるなど、建築後経過年数による老朽化施設の増加が確認できる。（表 1 参照）

表 1 ■経年別建物状況一覧

経過年数	小学校		中学校		合計	
	棟数	面積(m ²)	棟数	面積(m ²)	棟数	面積(m ²)
50年以上 (S39以前)	5	4,838	3	3,497	8	8,335
45年～49年 (S40/S44)	2	3,439	8	20,161	10	23,600
40年～44年 (S45/S49)	6	11,262	3	10,390	9	21,652
35年～39年 (S50/S54)	3	5,508	1	1,682	4	7,190
30年～34年 (S55/S59)	13	20,386	1	1,309	14	21,695
25年～29年 (S60/H1)	26	33,276	0	0	26	33,276
20年～24年 (H2/H6)	13	20,658	0	0	13	20,658
15年～19年 (H7/H11)	5	11,125	5	18,528	10	29,653
10年～14年 (H12/H16)	3	5,830	2	6,161	5	11,991
10年未満 (H17以降)	1	347	0	0	1	347
	77	116,669	23	61,728	100	178,397

※市教育総務課施設台帳（平成 26 年度）による集計（経過年数は平成 27 年 4 月を基準）

(3) 児童生徒数の推移

児童生徒数については、前回計画策定時の平成 18 年度には 8,097 人であったものが、平成 27 年度には 6,733 人、10 年後の平成 37 年度には 5,659 人と見込まれるなど、児童生徒数の減少がさらに進むと予測される。（図 1 参照）

【小学校】

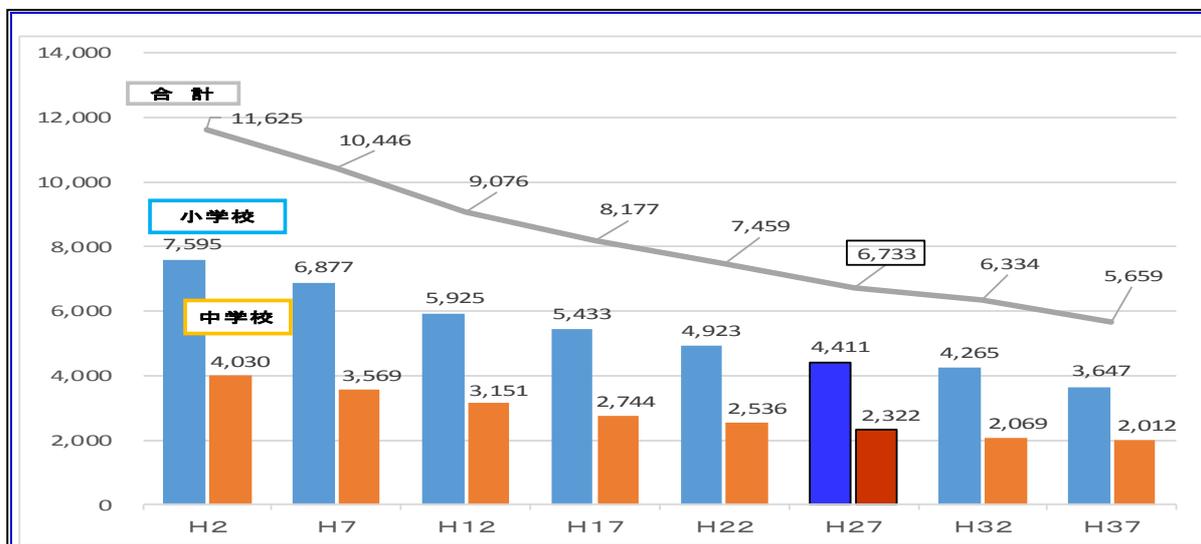
平成 27 年度は 4,411 人であったが、平成 37 年度には 3,647 人となり、764 人が減少すると見込まれる。（H27/H37 対比 17.3%減）

【中学校】

平成 27 年度は 2,322 人であったが、平成 37 年度には 2,012 人となり、310 人が減少すると見込まれる。(H27/H37 対比 13.4%減)

図 1 ■ 児童生徒数の推移

単位：人



※各年 5 月 1 日現在（ただし、H32、H37 は予測値）

3 学校施設整備計画

(1) 計画期間

平成 28 年度から概ね 10 年間とする。

(2) 基本的な整備方針

ア 吊り天井等落下防止対策

安全安心な教育環境整備のため、屋内運動場等の吊り天井等落下防止対策を、老朽化対策に先行し計画的に継続実施する。この落下防止対策にあわせ照明の LED 化を進める。

なお、屋内運動場以外に吊り天井を有する施設や吊り天井を有しない屋内運動場の照明器具等落下防止対策については、緊急性や効率性も考慮し、老朽化対策と併せた施工を基本として進める。

イ 老朽化対策

老朽化施設整備に対する国の方針を踏まえ、予防保全や「大規模改造」、「長寿命化改修」、「改築」の区分を基本とした長寿命化改修の手法を取り入れ、建て替えサイクルの延長を前提とした施設整備を進める。(P7 表 2 参照)

[参考]

- 1) 大規模改造：外装・内装等改修、トイレ改修 など
- 2) 長寿命化改修：コンクリート中性化対策など構造にかかる改修、機能向上 など
- 3) 改 築：建て替え

(ア) 老朽化対策の実施時期

改築までの目標使用年数とそれまでに実施する老朽化対策の時期は、建築後経過年数等を基礎に次の考え方を基本とする。

① 鉄筋コンクリート造 (R)

長寿命化改修を実施し、80年改築を基本とする。

※建築後30年程度で大規模改造、建築後50年程度で長寿命化改修、建築後80年程度で改築とする。

② 木造 (W)・鉄骨造 (S)

長寿命化改修に適さない施設とし、60年改築を基本とする。

※建築後30年程度で大規模改造、建築後60年程度で改築とする。

[注意]

- 1) 具体的な実施時期は、建築後経過年数だけでなく、事前の調査等による現状把握を踏まえて判断する。
- 2) 各目標年数までは、必要に応じて維持管理的修繕を行う。

(イ) 事業量・事業費の縮減

事前調査や点検により構造や設備等の劣化状況や状態の変化を把握し、効果的な整備を行うとともに、緊急性や児童生徒の安全性、教育環境に配慮しつつ、事業量や事業費の縮減に努める。

なお、平成37年度までに整備対象候補となる施設が多くあるため、鉄筋コンクリート造 (R) の施設については、事前の調査等を基に、現行の建築基準法との適合状態を考慮して、整備内容や実施時期を検討し、事業量の縮減を図る。

- a 吊り天井等落下防止対策完了後の平成30年度における経過年数等による調整。
 - ・50年を経過した施設は、事前の調査結果等に基づき、長寿命化改修を実施するか、適正な時期に「改築」を実施するか検討する。
 - ・30年を経過した施設で、施設状態が良いと認められる場合は、30年程度での大規模改造を行わず、次期施設整備区分として、建築後50年程度での「長寿命化改修」を検討する。

- b 耐震補強工事済の施設は、基本的な整備内容が大規模改造と同程度と認められる場合、大規模改造は行わず、次期施設整備区分は、建築後 50 年程度での「長寿命化改修」とする。

(ウ) 小規模校における下限の目安

学校では、児童生徒が集団の中で互いに学び合うことを通じ、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要であり、そのためには「一定集団規模の確保とバランスのとれた教職員集団の配置が望ましい。」とされ、法令では、標準学級数は「12 学級以上 18 学級以下」、学級編制基準は「小学校第 1 学年は 35 人、第 2 学年以上と中学校は 40 人」と規定している。

この適正規模は本市における学校規模の現状と今後の推移・推測から大きくかけ離れ、さらに、市民の居住地が広範囲となる地理的・地域的特性から見ると、実状とあわないと考える。一方で、児童生徒数だけを根拠としてこの適正規模に到達することは目指さないとしても、小規模校では教育的課題が生じやすいため、下限の目安は必要であると考えます。

審議会では、学校規模における教育的課題の改善や今後の児童生徒数の推移を踏まえ、小学校では現行と同じく「全ての学年が複式学級にならない規模」、中学校ではクラス替えが可能な「全ての学年が複数学級編制を保てる最小限の規模」を最優先事項として見直しの検討決定がなされている。この答申を踏まえ、小規模校における下限の目安を次のとおり設定する。

なお、この下限の目安は、老朽化施設における整備区分の目安と位置付けている。

- ① 小学校：全ての学年が複式学級にならない児童数（50 人程度）
② 中学校：全ての学年が複数学級となる生徒数（120 人程度）

[注 意]

- ・上記の児童生徒数は、特別支援学級に在籍する児童生徒数を含めた学校全体の人数とする。
- ・中学校の下限の目安は、学級編制基準が 40 人の場合、41 人になると 2 学級編制（20 人と 21 人）となる考えに基づき 120 人程度とする。

[参 考]

- ・標準学級数：学校教育法施行規則
- ・学級編制基準：公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

(エ) 下限の目安に達した場合の施設整備

計画期間内に下限の目安に達し、かつ、その後もその状態が継続すると予測される学校の施設整備については、原則として大規模改造、長寿命化改修、改築などの大規模な施設整備は実施せず、安全安心な教育環境を維持するために必要な修繕等管理的整備を行う。

なお、プールなどの付属施設の整備についても、老朽化施設の整備方針に則して実施する。(P9 表3参照)

①現時点で下限の目安まで減少し、その後も減少が予測される学校

小学校	港西・中竹野・竹野南・八代・静修・寺坂・高橋（7校）
中学校	港・城崎・竹野・日高西・但東（5校）

②現在は該当しないが、将来的に該当すると予測される学校

小学校	奈佐・港東・資母（3校）
-----	--------------

※予測期間は、計画期間と同一とする。

(オ) その他

大規模な施設整備を行う場合は、建築時の状態に戻すだけでなく、財政状況を勘案したうえで、空調設備など時代のニーズに対応した施設への転換についても考慮を進める。

さらに、豊岡市が進める小中一貫教育の動きと連携した施設整備となるよう総合的に検討する。

(3) 事業別整備計画

ア 吊り天井等落下防止対策事業

主な対策事業	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34～H37年度
吊り天井等落下防止対策	※H27年度計画の11校						
上記以外の落下防止対策			※大規模改造等に併せ実施				

◇計画の進行状況等により、見直しや変更を行う場合がある。

平成27年度	平成28年度	平成29年度
中筋小 屋内運動場 662 m ²	港西小 屋内運動場 712 m ²	八条小 屋内運動場 756 m ²
田鶴野小 屋内運動場 754 m ²	府中小 屋内運動場 717 m ²	五荘小 第2屋内運動場※ 49 m ²
竹野南小 屋内運動場 828 m ²	三方小 屋内運動場 870 m ²	日高小 屋内運動場 945 m ²
—	資母小 屋内運動場 533 m ²	但東中 武道場 285 m ²

※一部が吊り天井

[参考]

- ・整備は平成27年度から3年間
- ・面積は、「アリーナ」吊り天井関係部分の水平投影面積

イ 老朽化対策事業（大規模改造・長寿命化改修・改築）

主な対策事業	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34～H37年度
老朽化対策							
整備基本方針の設定等 (内部)	→ ※具体的整備方法等の検討決定(随時)						
(外部)	→ ※地区保護者等との意見交換(随時)						
事前調査	→ ※長寿命化改修、改築の場合は、事前に構造等調査						
実施設計					→ ※整備工事前年実施を基本		
施設整備							→

◇計画の進行状況等により、見直しや変更を行う場合がある。

表2 ■老朽化対策対象施設一覧（平成37年度まで）

【小学校 18校】※経過年数は平成27年度を基準

NO	学校名	用途	構造/階数	床面積(㎡)	建築年度	経過年数	整備区分
1	竹野小	校舎①	R/3	2,224	S35	54	長寿命化改修又は改築
2	竹野小	校舎②	R/2	567	S36	53	長寿命化改修又は改築
3	竹野小	屋内運動場	R/2	643	S37	52	長寿命化改修又は改築
4	日高小	校舎①	R/3	2,571	S40	49	長寿命化改修
5	八条小	校舎①	R/3	1,090	S46	43	長寿命化改修
6	五荘小	校舎①	R/3	4,547	S46	43	長寿命化改修
7	五荘小	屋内運動場①	R/2	939	S46	43	長寿命化改修
8	府中小	校舎①	R/2	1,131	S48	41	長寿命化改修
9	日高小	校舎②	R/3	2,864	S49	40	長寿命化改修
10	新田小	屋内運動場	R/2	1,078	S57	32	長寿命化改修
11	三江小	校舎①	R/4	2,765	S57	32	長寿命化改修
12	豊岡小	屋内運動場	R/2	1,944	S59	30	大規模改造
13	三江小	屋内運動場	R/2	1,107	S59	30	大規模改造
14	清滝小	屋内運動場	S/2	1,052	S60	29	大規模改造
15	福住小	校舎	R/3	1,952	S61	28	大規模改造
16	福住小	屋内運動場	R/1	819	S61	28	大規模改造
17	三江小	校舎②	R/3	1,181	S62	27	大規模改造
18	神美小	校舎①	R/2	1,412	S62	27	大規模改造
19	小野小	校舎	R/3	1,911	S62	27	大規模改造
20	小野小	屋内運動場	R/1	800	S62	27	大規模改造
21	田鶴野小	屋内運動場	R/2	1,002	S63	26	大規模改造
22	神美小	校舎②	R/2	756	S63	26	大規模改造

N0	学校名	用途	構造/階数	床面積 (㎡)	建築年度	経過年数	整備区分
23	城崎小	校舎①	R/3	2,465	S63	26	大規模改造
24	城崎小	校舎②	R/3	1,854	S63	26	大規模改造
25	城崎小	屋内運動場	R/2	1,479	S63	26	大規模改造
26	八条小	屋内運動場(複合)	S/2	1,292	H1	25	大規模改造
27	合橋小	校舎①	R/1	833	H1	25	大規模改造
28	合橋小	校舎②	R/2	1,456	H1	25	大規模改造
29	弘道小	校舎①	W/2	2,730	H2	24	大規模改造
30	弘道小	校舎②	R/1	848	H2	24	大規模改造
31	弘道小	屋内運動場	R/1	1,087	H2	24	大規模改造
32	中筋小	校舎①	R/3	1,378	H2	24	大規模改造
33	合橋小	屋内運動場	R/1	973	H2	24	大規模改造
34	五荘小	屋内運動場②	R/2	772	H3	23	大規模改造
35	中筋小	校舎②	R/3	858	H3	23	大規模改造
36	府中小	校舎②	R/3	2,591	H3	23	大規模改造
37	府中小	屋内運動場	R/2	1,300	H3	23	大規模改造
38	中筋小	屋内運動場	R/2	1,033	H4	22	大規模改造
39	八条小	校舎②	R/3	2,720	H6	20	大規模改造
40	三方小	校舎	R/2	3,153	H6	20	大規模改造
41	三方小	屋内運動場	R/1	1,215	H6	20	大規模改造

【中学校 3校】

N0	学校名	用途	構造/階数	床面積 (㎡)	建築年度	経過年数	整備区分
1	日高東中	校舎①	R/2	1,907	S41	48	長寿命化改修
2	日高東中	校舎②	R/3	4,119	S41	48	長寿命化改修
3	日高東中	屋内運動場	R/1	1,332	S42	47	長寿命化改修
4	豊岡北中	校舎①	R/3	3,091	S44	45	長寿命化改修
5	豊岡北中	校舎②	R/3	4,283	S44	45	長寿命化改修
6	豊岡北中	屋内運動場	R/2	1,513	S45	44	長寿命化改修
7	豊岡南中	校舎①	R/3	3,690	S49	40	長寿命化改修
8	豊岡南中	校舎②	R/3	5,187	S49	40	長寿命化改修

[注意]

- 1) 上記対象施設や整備区分は、建築後経過年数等を基に整理しているが、事前の調査や現状把握等を踏まえ、実施時期や整備区分等の見直しや変更を行う場合がある。
- 2) 「整備区分」は、平成27年度での経過年数が30年以下は「大規模改造」、31年以上50年以下は「長寿命化改修」、50年を超えたものは「長寿命化改修又は改築」として整理している。
- 3) 構造R：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造。建築後経過年数順等で整理

表3 ■下限の目安に達している又は達する見込みのある施設一覧

【小学校 10校】※経過年数は平成27年度を基準

NO	学校名	用途	構造/階数	床面積(㎡)	建築年度	経過年数	整備区分
1	中竹野小	校舎①	W/1	356	S26	63	—
2	中竹野小	校舎②	R/2	1,048	S33	56	—
3	奈佐小	校舎①	R/2	868	S41	48	—
4	八代小	校舎①	R/2	691	S46	43	—
5	静修小	校舎①	R/2	937	S52	37	—
6	港西小	校舎①	R/3	2,260	S55	34	—
7	港西小	校舎②	R/3	1,098	S55	34	—
8	資母小	校舎	R/3	2,580	S56	33	—
9	資母小	屋内運動場	R/1	737	S56	33	—
10	静修小	屋内運動場	S/1	722	S58	31	—
11	寺坂小	校舎	R/2	1,604	S59	30	—
12	港東小	校舎	R/3	1,932	S60	29	—
13	寺坂小	屋内運動場	R/1	680	S60	29	—
14	奈佐小	校舎②	R/2	1,112	S61	28	—
15	港東小	屋内運動場	R/2	985	S61	28	—
16	竹野南小	校舎	R/3	2,186	S61	28	—
17	竹野南小	屋内運動場	R/2	996	S61	28	—
18	八代小	屋内運動場	S/2	1,052	S61	28	—
19	奈佐小	屋内運動場	R/2	1,010	S62	27	—
20	高橋小	校舎①	R/2	1,320	S63	26	—
21	高橋小	校舎②	R/2	782	S63	26	—
22	高橋小	屋内運動場	R/1	957	S63	26	—
23	八代小	校舎②	R/3	1,425	H7	19	—
24	港西小	屋内運動場	R/2	956	H10	16	—
25	静修小	校舎②	R/2	347	H23	4	—

【中学校 5校】

NO	学校名	用途	構造/階数	床面積(㎡)	建築年度	経過年数	整備区分
1	港中	校舎①	R/3	1,679	S37	52	—
2	港中	校舎②	R/3	987	S37	52	—
3	港中	屋内運動場	S/2	831	S38	51	—
4	日高西中	校舎①	R/3	2,532	S41	48	—
5	日高西中	校舎②	R/2	1,910	S41	48	—
6	日高西中	屋内運動場	S/1	987	S42	47	—
7	城崎中	屋内運動場	R/2	1,309	S59	30	—
8	城崎中	校舎	R/3	3,898	H7	19	—
9	竹野中	校舎	R/3	3,815	H8	18	—
10	竹野中	屋内運動場	R/2	2,281	H8	18	—
11	但東中	校舎	R/2	4,346	H15	11	—
12	但東中	屋内運動場	R/2	1,815	H15	11	—

〔注意〕※構造R：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造。建築後経過年数順等で整理

4 学校統合等留意事項

本市においては、市民の居住地が広範囲であり地理的・地域的特性から見ると、児童生徒数だけを根拠とした学校統合は子どもへの教育環境・条件の保障の観点から必ずしも望ましいとは言えない。

しかしながら、小規模校では、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会が少なくなりやすいなど教育的課題が生じやすい状況にあると考える。

このため、子ども同士で多様な学び合いができる学校のあり方や、新しい教育システム（小中一貫教育）を効果的に進めるための学校のあり方について保護者や地域住民とともに検討していく必要があると考える。

そこで、学校統合の話題が出れば、学校統合についても保護者や地域住民とともに検討していくものとする。

なお、学校は地域の拠点としての機能もあるため、地域性への配慮なども必要であり、学校統合の検討を進める場合は次の考え方を基本とする。

〔小学校〕

- ・同一中学校区内での統合を優先して検討する。
- ・通学距離、通学時間等は可能な限り短くなるよう検討する。

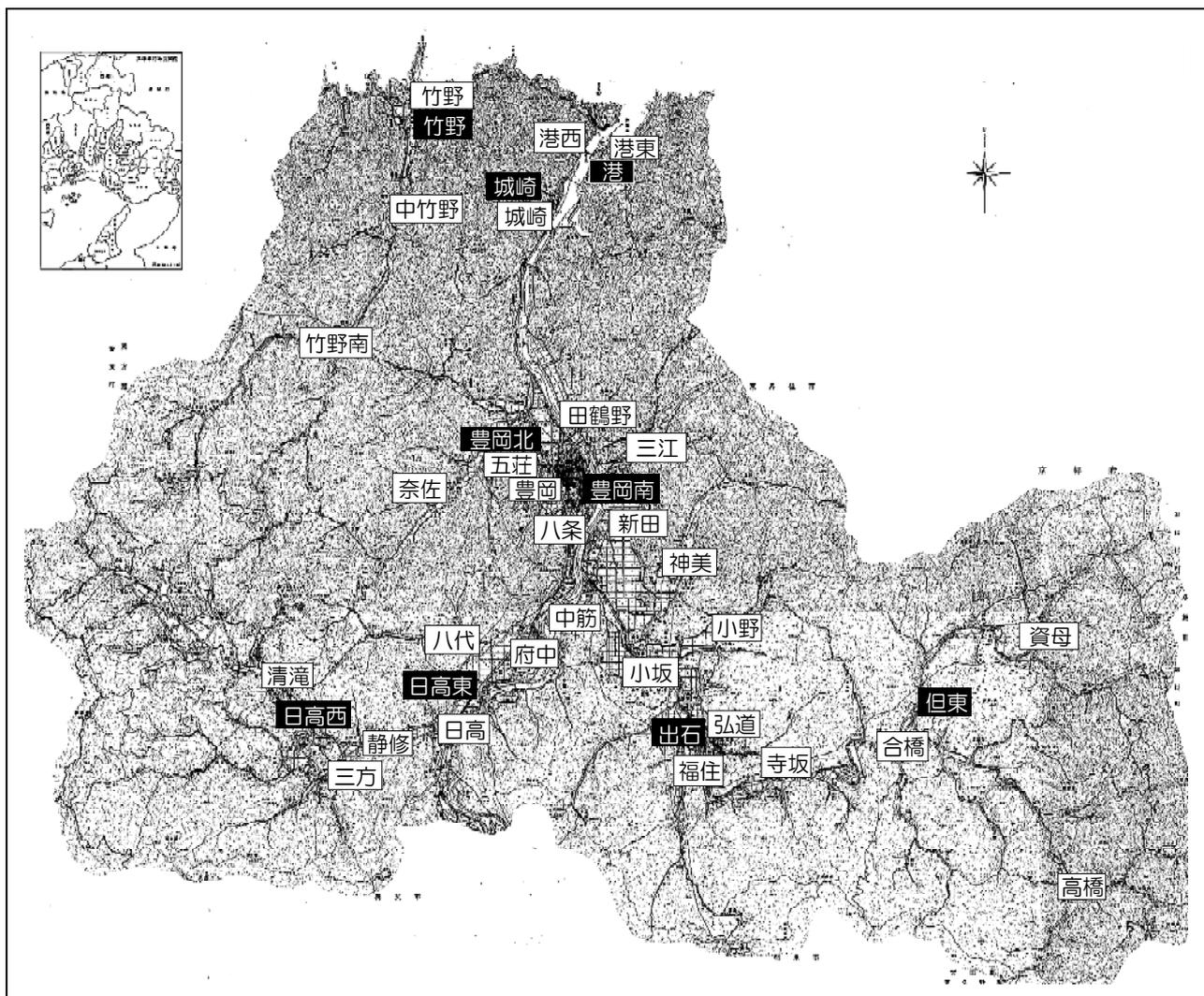
〔中学校〕

- ・少なくとも各地域に1校は存続させるよう検討する。

付属資料

資料番号	内 容
1	小中学校位置図
2	学校別学校規模の推移（児童生徒数年度別推移）
3	学校別学校規模の推移（児童生徒数比較）
4	計画期間以降の対象施設一覧

■ 小中学校位置図



【平成 27 年 4 月現在】

公立学校	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
小学校	11校	1校	3校	6校	5校	3校	29校
中学校	3校	1校	1校	2校	1校	1校	9校

■ 学校別学校規模の推移（児童生徒数年度別推移）

小学校									
(単位:人)									
No.	学校名	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37
1	豊岡小	845	785	678	612	489	385	388	333
2	八条小	384	324	316	326	339	381	371	347
3	三江小	470	366	313	236	185	151	163	150
4	田鶴野小	171	159	177	183	196	153	195	189
5	五荘小	958	833	745	715	770	702	722	691
6	新田小	271	271	279	275	217	196	183	169
7	中筋小	183	132	128	102	119	109	113	98
8	奈佐小	112	93	96	86	71	68	39	22
9	港東小	146	112	90	80	62	60	48	39
10	港西小	195	165	135	121	90	49	48	42
11	神美小	173	174	149	136	139	124	129	96
12	城崎小	330	310	257	220	165	136	147	138
13	竹野小	324	311	226	203	169	117	103	84
14	中竹野小	55	46	58	42	45	31	22	19
15	竹野南小	106	107	101	88	42	23	26	26
16	府中小	274	257	194	187	215	209	179	149
17	八代小	83	69	46	45	59	43	40	27
18	日高小	561	471	432	415	432	464	439	320
19	静修小	62	72	71	72	51	47	48	41
20	三方小	274	231	194	176	127	120	121	89
21	清滝小	182	180	120	95	77	105	88	66
	(西気小)	68	100	74	67	42			
22	弘道小	314	335	274	271	217	233	213	173
23	福住小	216	180	131	133	152	143	103	70
24	寺坂小	77	62	56	52	30	19	33	29
25	小坂小	185	182	148	127	126	108	82	62
26	小野小	104	85	80	90	86	60	66	52
27	合橋小	170	156	140	124	85	77	70	62
28	高橋小	98	115	84	50	42	31	27	17
29	資母小	204	194	133	104	84	67	59	47
	小学校計	7,595	6,877	5,925	5,433	4,923	4,411	4,265	3,647
中学校計									
(単位:人)									
No.	学校名	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37
1	豊岡南中	1,040	904	774	711	620	586	570	560
2	豊岡北中	948	816	694	604	621	595	510	524
3	港中	167	158	118	104	93	78	59	37
4	城崎中	184	177	133	113	97	81	66	70
5	竹野中	198	172	154	124	122	120	75	67
	(森本中)	76	63	72	61	46			
6	日高東中	537	478	424	319	320	347	343	329
7	日高西中	260	239	231	196	161	114	110	108
8	出石中	464	436	401	329	311	298	253	238
9	但東中	156	126	150	183	145	103	83	79
	中学校計	4,030	3,569	3,151	2,744	2,536	2,322	2,069	2,012
	合計	11,625	10,446	9,076	8,177	7,459	6,733	6,334	5,659

※児童生徒数は、H27.5.1 現在。ただし H32 以降は予測値

■ 学校別学校規模の推移（児童生徒数比較）

小学校		H27年度		学校規模別 (人)	H37年度			
0%				800人以上		0%		
7%	日高小 464	五荘小 702		401~800人	五荘小 691	3%		
14%	府中小 209	八条小 381	豊岡小 385	201~400人	豊岡小 333	八条小 347	日高小 320	10%
		弘道小 233						
38%	新田小 196	田鶴野小 153	三江小 151	101~200人	三江小 150	田鶴野小 189	新田小 169	21%
	城崎小 136	神美小 124	中筋小 109		城崎小 138	府中小 149	弘道小 173	
	清滝小 105	三方小 120	竹野小 117					
		小坂小 108	福住小 143					
17%	小野小 60	港東小 60	奈佐小 68	100~51人	中筋小 98	神美小 96	竹野小 84	31%
		資母小 67	合橋小 77		三方小 89	清滝小 66	福住小 70	
					小坂小 62	小野小 52	合橋小 62	
24%	竹野南小 23	中竹野小 31	港西小 49	50~0人	奈佐小 22	港東小 39	港西小 42	34%
	寺坂小 19	静修小 47	八代小 43		中竹野小 19	竹野南小 26	八代小 27	
			高橋小 31		静修小 41	寺坂小 29	高橋小 17	
					資母小 47			
合計	4,411 人	29 校			3,647 人	29 校		

中学校		H27年度		学校規模別 (人)	H37年度			
				721人以上				
22%	豊岡北中 595	豊岡南中 586		361~720人	豊岡南中 560	豊岡北中 524	22%	
22%	出石中 298	日高東中 347		181~360人	日高東中 329	出石中 238	22%	
0%				180~121人			0%	
56%	竹野中 120	城崎中 81	港中 78	120~61人	城崎中 70	竹野中 67	日高西中 108	44%
		但東中 103	日高西中 114		但東中 79			
0%				60~0人	港中 37		11%	
合計	2,322 人	9 校			2,012 人	9 校		

※児童生徒数は、H27.5.1 現在及び予測値

■ 計画期間以降の対象施設一覧

【小学校 8校】※経過年数は平成27年度を基準

No.	学校名	用途	構造/階数	床面積(m ²)	建築年度	経過年数
1	五荘小	校舎②	R/3	1,875	S53	36
2	田鶴野小	校舎	R/3	2,696	S54	35
3	新田小	校舎①	R/3	2,753	S55	34
4	神美小	屋内運動場	S/1	710	S55	34
5	新田小	校舎②	R/3	1,028	S56	33
6	豊岡小	校舎①	R/3	3,228	H8	18
7	豊岡小	校舎②	R/3	2,990	H9	17
8	清滝小	校舎	R/2	2,526	H9	17
9	日高小	屋内運動場	R/2	1,489	H14	12
10	小坂小	校舎	R/2	3,240	H14	12
11	小坂小	屋内運動場	R/2	1,101	H14	12

【中学校 2校】※経過年数は平成27年度を基準

No.	学校名	用途	構造/階数	床面積(m ²)	建築年度	経過年数
1	豊岡南中	屋内運動場	R/2	1,682	S51	38
2	出石中	校舎	R/3	5,881	H9	17
3	出石中	屋内運動場	R/2	2,653	H9	17

〔注意〕※構造R：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造。建築後経過年数順等で整理